

# えべつの未来づくりミーティング

～ 介護予防サポーターの皆さん編 ～

令和4年5月23日（月） 江別市民会館2階23号室  
午後2時～午後4時30分

## 1 江別市の「強み」「弱み」は

・強みは、比較的コンパクトにいろいろなものが集約されていること。石狩川を境に農業、住宅とそれぞれあって、自然と農畜産が盛んで、暮らしやすいと思う。弱みは、江別市のことが知られていないこと。札幌市の友人にも江別市のことがあまり知られていないと感じる。観光については「江別市に行ったらどこがお勧めですか」と聞かれ、商業施設を勧めても、あまり関心を持ってもらえない。また、大学生が卒業後に市外に就職して転出することも残念である。



・住みやすいということが強み。札幌市が近いことが大きい。反面、札幌市が近いので札幌市に働きに行ってしまうので、産業が少ない。大学生が江別市に残らないことや、観光の目玉がないことも弱み。また、野幌原始林や野幌森林公園があるが、観光資源としてうまく生かされていないと感じる。そのほか、全国的な課題でもあるが、高齢化が進んでいるので、健康寿命を延ばすことが課題だと思う。

・強みは、土地が広く、交通が便利で、札幌市が近いことなど。大きな企業が少ないことは弱みではあるが、産業の景気の善し悪しに影響されず、まちづくりを考えることができるという強みでもある。



・強みは、子育て世代の転入が多いこと。自分は、未就学児の子育て支援の手伝いをするところがあるが、支援活動がもっと広まると良いと思う。また、医療がもう少し充実すると良いと思う。

・江別市に転入してきた当初と比べると、とても住みやすくなったが、運転免許を返納して、不便だと感じるようになった。公共交通機関の利便性を高めることが必要だと思う。産業については、大きな会社が来て、働く場ができるが良いが、札幌市に通勤している人にとっても住みやすいことも大事だと思う。観光の目玉は分からないが、市で観光ポイントをもっとアピールすることが大事なのではないだろうか。また、札幌市で言えば、狸小路やすずき野のような、にぎわいのある場所ができる仕掛けがあると良いと思う。

・強みは、札幌市へのアクセスの良さ。ゆったりと江別市で生活しながら札幌市にも行きやすい。また、札幌市と比べると車が少なく、ストレスが少ないと感じている。弱みは、札幌市のベッドタウンという特性のため、石狩管内の他市に比べて税収が少ないこと。

## 2 高齢者が生き生きと暮らしていくための方法について

・地域の方々のサポート、介護予防サポーターのような活動、地域での互助の活動などが大事だと思う。また、健康寿命を延ばすことも重要。加えて、介護サービスも充実すれば、子育て世代だけでなく、転

入ってくる高齢者も増えるのではないかと思います。

- ・ここ何日も会話をしていない人が少なくないことが問題。食事、運動、社会参加のうち、社会参加は人と接しないとできない。社会参加の際も、交通費と会場費の負担が問題になっている。介護予防サポーターの活動についても、市の空いている施設をもっと利用させてほしいと思っている。
- ・地域の仲間とともに健康寿命を延ばすことが大事で、そのためには、集まってしゃべることが重要だと思う。何人でもいいから集まって話をして、引きこもる状況をなくすことが大事。お弁当を一緒に食べるだけでも良いと思う。ただ、場所があるかどうかが問題。自治会館があるところは積極的に利用するなど。高齢者が身近な場所で集える環境を整え、自治会の活動に参加する機会を多く提供することが良いのではないだろうか。民生委員の活動も、高齢者を見守るという点では同じであり、連携や情報交換などができると良いと思う。



- ・介護予防の体操である「元気アップ体操」をみんなで続けて行っている。活動の場に参加される方は元気だが、認知症の方も含め、活動の場に出て来られない方に、声を掛けていくことが必要だと思う。
- ・民生委員と連携し、介護予防サポーターとしてどのような支援ができるのかをもっと話し合えたら良いと思う。積極的に話を聞いてくれる民生委員もいる。また、高齢者クラブや自治会と連携し、認知症についての講座を開催したこともある。市でも、高齢者支援に関係する団体が連携して活動することの重要性を理解してほしい。引きこもっている方を探して、地域活動に誘う人が増えることが大事だと思う。フレイル予防についても、定期的に広報することが大事なのではないだろうか。

- ・同じ年齢でも、健康や、社会参加の度合い、ライフスタイルなどは個々で違うので、「生き生きとした生活」の捉え方には差があると思う。その人が、その人らしい生活ができることが大事なので、包括的な支援が必要だと思う。

### 3 人口減少が進む中で、江別市が力を入れるべき分野について

- ・介護予防が重要だと思う。「フレイル」という言葉もだいぶ浸透してきている。健康寿命を延ばし、介護状態の方は介護度が上がらないようにする。また、高齢化に伴い、独居の高齢者が増える中、独居の方は家族と同居の方に比べて、死亡率や要介護認定率が高いというデータを見たこともある。社会参加や地域とのつながりがある独居の高齢者は良いが、地域とのつながりを拒んでいる方にどのような支援をしていくかということも、今後大事になってくる課題だと思う。
- ・江別市を終の棲家にと、江別市に家を買う方と、賃貸住宅に住む方がいるが、賃貸住宅に住む方も暮らしやすければ、ずっと江別市に住み続ける。ベッドタウンとしての特性を生かし、これからも、転入者を受け入れていくことが大事だと思う。受け入れる環境づくりとして、娯楽、観光、商業施設、会社の支店などを誘致できれば、人口減少は多少抑えられるのではないだろうか。
- ・高齢者が安心して住み続けられるまちづくりが重要。自然が多いので、自然を生かして、外部からも魅力を感じられる取組も必要だと思う。また、学ぶことに関心が高い方も多いので、生涯学習の機会、情報発信をもっと行ったら良いのではないだろうか。
- ・過疎の地域で、子どもを産みやすいように投資したことで、人口が増えただけでなく、地域の方の意識も変化し、その他の相乗効果もあったという事例を見たことがある。合計特殊出生率が低いまま





は人口増加は見込めない。子どもを産みやすいように、また、子どもが生まれた後に育てる不安が減るような取組に力を入れるべきだと思う。



・ベッドタウンの機能を充実させて、市外からの転入を促すことが効果的なのではないだろうか。幼稚園や保育園の充実、公共交通機関の充実などを進めることが必要だと思う。また、江別市は家賃が低いので、若い世帯に転入を促すこともできると思う。また、健康寿命を延ばすことで、介護保険料を減らし、若い世代の負担を減らしていくことが重要だと思う。

・全ての分野で人口減少への対策に取り組むべきで、どこを重点的にということは難しいが、除排雪を課題と感じている人が多いことは、アンケート調査結果にも出ている。今年あたりは、大雪を理由に、市外に転出した高齢者もいたのかもしれない。除排雪の対応は喫緊の課題ではないだろうか。社会福祉協議会では福祉除雪を行っているが、もう少し対象を拡大してはどうだろうか。

・子育てについては、子育て中の世帯が転入して来ることが多いと思うが、江別市に来て、さらに2人目、3人目を産むことを考えてもらうには、保育所や子どもが産める産婦人科の増加なども進めていくことが必要なのではないかと思う。もう一つは、独居の高齢者のこと。70歳代から独居になる女性が多い。自分も、独居の高齢者にいかに社会参加してもらうか困ったことがある。どのような方が情報が全くなく、自治会でも状況が分からず、本人は「放っておいてほしい」と拒否する。皆さんに迷惑をかけたくないという気持ちの表れであって、それが、その人にとっては望む状態なのかもしれない、なかなか社会参加を促すことに踏み込めないこともある。いろいろな方がいることを踏まえて、社会参加を促していかなければならないと感じている。

